

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 ー子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
重点プロジェクト		子育てするならふじみ野市プロジェクト		
主管課	子ども・元気健康部 保育課	評価責任者	篠澤 真由美	
		評価日	令和3年5月19日	
関連課	障がい福祉課、子育て支援課、保健センター、学校教育課			
目標	保育を必要とする子育て家庭が、安心して子育てができ、育てる喜びも感じられるよう、関係機関と協議・調整を図りながら、多様化する保育需要に対応した保育環境の整備を進めます。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 保育基盤の確保・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育所、認定こども園等への民間事業者の誘致により待機児童の解消に努めます。 ○民間事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の運営を促進し、多様な保育の場の提供を進めます。 <p>(2) 保育人材の育成及び保育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個々の保育ニーズを的確に捉え、保育園の健全運営の支援と質の高い保育の維持・向上に努めます。 ○小学校との連携や発育・発達に関する専門的支援の充実を進めます。 ○保育士の専門性を高める研修などを充実させ、適切な人材育成・配置に努めるとともに、安定した教育・保育の提供体制を確保します。 			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	保育所待機児童数					
		説明	認可保育所への申込数から認可保育所に入所できた人数、復職の意思が確認できない育休中の人数、求職活動を休止している人数、特定の保育園等のみ希望している人数などを引いた真に保育を必要としている児童数					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	5	2	5			
	指標2	指標名	病児・病後児保育実施箇所数					
		説明	保育を必要としている病気療養中または回復期の児童を家庭に代わって一時的に保育を提供する施設数（市内1施設、市外2施設で登録者も増加し、利用時期が重複することから市民利便性の向上のため市内に増設が必要）					
		単位	箇所					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	3	4	4	4	5
		実績値	3	3	3			
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
指標4	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	2,590,783	2,716,410	3,508,226	4,104,616		
	人件費	1,060,553	1,027,332	1,063,382	1,220,546		
収入	特定財源	1,585,411	1,783,981	2,124,299	2,808,115		
	一般財源	2,065,925	1,959,761	2,447,309	2,517,047		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	民間保育所の特色に応じた保育環境充実支援	民間認可保育所に対し、定員、保育士勤務年数、児童の年齢に応じた公定価格に基づき、支弁額を算出し委託料として支払う。また、民間保育所補助金交付要綱に基づき、一時保育や延長保育、病児保育などの、県又は市単独の補助事業を活用し、保育環境の充実を支援する。	民間認可保育園15施設、認定こども園2施設、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所5施設に対し、給付委託料に加え、病児保育事業補助を始めとした19種のメニューによる補助金を支援し、民間保育所の人的及び物的保育環境の充実を図り、保育の質を向上させた。	幼児教育・保育施設運営支援事業
取組②	待機児童解消に向けた入所選考事務の「質の向上」	年々増加する保育所入所希望者の希望を最大限生かした入所選考事務を適切に行うため、AIシステムを積極展開し、これまでのアナログ作業に要していた職員のマンパワーを、よりきめ細かい保護者に寄り添った支援に活用する。	入所選考AIシステム本格稼働 AIシステムを駆使した入所選考を行うことにより、92時間（77%軽減による時間創出）を保護者支援に振り向けることができた。さらにアナログ作業の申請書入力作業における事務負担を軽減するため、OCRの導入等について検討した。	保育所入所事務
取組③	幼児教育無償化事務運営の円滑化	令和元年10月に開始された幼児教育無償化制度を円滑に展開するために、保育システムを適宜改修するとともに、新たな事務として必要となった幼稚園利用者の利用がより円滑になるよう運営事務改善を進め、利用者の立場に寄り沿った適正で効率的な事務事業の展開を行った。	認可外保育施設とファミリーサポート事業を含む子育て援助活動支援事業を利用する場合に、利用者に分かりやすい案内を作成のうえHPに掲載し無償化制度利用の向上を図った。また、未移行幼稚園からの請求様式に係る広域利用に対応し、その事務処理の円滑化に努めた。	幼児教育・保育施設運営支援事業、保育所入所事務
取組④	保育園経営健全化と保育の質の向上に向けた保育運営等巡回相談業務	保育提供に関する技術支援や効果的な運営・経営方法について、最新の子ども子育て支援制度の情報に精通した専門の民間事業者のノウハウを学び、職員のみで巡回指導を行い、民間保育園における一層の保育の質の向上と運営の安定化に向け支援した。	今年度は新型コロナ感染予防対策が必要なことから、各保育施設への巡回訪問は埼玉県の確認指導監査と共に帯同し行う形となり、巡回指導は限定的となった。長年懸案事項であった民間保育所補助金使途の適正化については、要綱を見直し各認可保育所に周知を図った。	幼児教育・保育施設運営支援事業、市立保育所管理運営事業
取組⑤	新型コロナ感染予防対策の徹底と保育所運営の持続化	新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言発出下においても、基本的に保育施設は感染予防対策を徹底した上で運営する必要があるため、国の補助金を活用しマスクや消毒液等、衛生用品の配備を支援し、持続可能な保育所運営を支援した。	国の保育対策総合支援事業補助金、新型コロナ感染症緊急包括支援交付金及び子ども・子育て支援交付金を活用し、公立保育所5施設、民間保育施設25施設へ合計22,792千円分の感染予防衛生対策費用を支援し、休園措置に至ることなく保育運営を持続できた。	保育所入所事務、幼児教育・保育施設運営支援事業、市立保育所管理運営事業

5. 評価

		評価
指標の達成状況	子育て世代にとっては大変重要である本市の待機児童数については、直近の数値(6月1日現在)で「1人」と低水準で推移している状況である。これも偏に、平成26年度以降、積極的に民間保育園の誘致に取り組んできたことが実を結び、成果へと繋がっているものと考えられる。このように本市としては、保育の受け皿が整ってきている状況であるため、現状においての目標は、公立の保育所も含めた全28か所の保育施設すべての『更なる保育の質の向上』である。これを具現化するため、様々な取組を実施し、特に、過年度において実施した保育専門コンサルタントによる『保育運営等巡回相談業務』を通じ本市の職員も専門的な知識を得て指導監査に生かしている。また、入所選考事務におけるAIを本格稼働し、保育入所者の満足度の向上とともに保育利用者支援を充実させ質の向上を目指している。さらに幼児教育無償化制度も詳細な情報提供とシステムの改善により円滑に進めた。今年度は国の感染予防支援策を活用しコロナ感染予防対策の徹底を図り1つの園も休園することなく保育所運営の継続につなげた。前期基本計画《前期重点プロジェクト》の一つである『子育てするならふじみ野市プロジェクト』の中核を担う本施策については、現状において順調に流れているが、待機児童対策は勿論のこと、今後においても様々な取組に挑戦しつつ、更なる安全・安心の保育環境を目指していくものである。	
おおむね順調		
行政資源の活用		
適切		
取組の有効性		
有効		
施策の効果		
大きな効果が得られている	※病児・病後児保育実施箇所数については、令和2年度中において1箇所の民間保育園(病児・病後児保育も可)を誘致したことにより、令和3年度建設工事、令和4年度開所というスケジュールで進捗している。	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	家庭保育室運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 一子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目	一般会計 03民生費 02児童福祉費 01児童福祉総務費			
所管部課	こども・元気健康部 保育課	評価責任者	小川 正樹	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	家庭保育室運営事業費補助金交付要綱（県）、ふじみ野市家庭保育室要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	保護者が労働または疾病の理由により、保育を必要とする0から2歳児の乳幼児保育を市が指定した家庭保育室において保育を委託することにより保護者が安心して生業等に専念できる事を目的とするとともに、児童福祉の増進に資する。		
	事務事業の経緯	合併前から事業を行っており、平成22年4月から、保護者負担軽減の拡充を行い、さらに保護者が利用しやすくなった。令和元年度には、市内の家庭保育室は認可保育園へ移行したため、市内に家庭保育室がなくなったため、市外の家庭保育室を委託先として対象としている。		
	事務事業の概要	家庭保育室への事業委託等を行う。市が委託した者が、その家庭において0から2歳児の乳幼児を保育する。市が保護者に対し、基本保育料の一部について家庭の収入に応じた額を負担し、家庭保育室に対しては、経費の一部を委託費として支払う。家庭保育室の補助金の算出について決定を行う。		
	令和2年度の主な取組	現在、市内には家庭保育室がないため、市外の家庭保育室の利用があった際は、保護者に対し、基本保育料の一部について家庭の収入に応じた額を負担し、当該家庭保育室に対しては、経費の一部を委託費として支払う。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.00	0.10
		人件費	3,989	0	806
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	3,989	0	806	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	2,628	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1	2	47		
	支出合計	3,990	2	3,481	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	594
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	3,990	2	2,887	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		35	0	25	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	入室中の市内在住0~2歳児 指定家庭保育室児童のべ人数		
	説明	市外指定家庭保育室に委託している児童のべ人数 市内の家庭保育室はなく、県内市外の家庭保育室利用児童が対象となる。利用者はいないため、家庭保育室の需要は低下している。 令和3年度より当指標を次のとおり変更する。「家庭保育室利用人数」		
活動	単位	委託人数		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	60	60	36
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	実施実績なし
------------------	--------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	平成31年4月に市内の家庭保育室はすべて認可施設へ移行し、市内の家庭保育室はなくなったため事業の方向性としては縮小とするが、引き続き、保護者の事情により県内他市町村の家庭保育室を利用した際には、ふじみ野市家庭保育室要綱に基づき当該家庭保育所に対して運営費を支払い、また、保護者に対しては、世帯の所得に合わせた保育料の負担軽減を行う。
中長期的方向性	
縮小	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		保育所入所事務	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 一子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目		一般会計 03民生費 02児童福祉費 03児童福祉施設費		
所管部課		こども・元気健康部 保育課	評価責任者	小川 正樹
事務事業期間		昭和41年～	評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		①児童福祉法②ふじみ野市保育所入所児童選考委員会条例③ふじみ野市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例④ふじみ野市保育料徴収嘱託員設置規則		
事務事業の内容	事務事業の目的	保護者が仕事に従事したり、病気等のため、家庭において十分保育することができない児童を、児童福祉法に基づき、家庭の保護者に代わって保育することを目的とする。		
	事務事業の経緯	女性の社会進出の増加に伴い、増加傾向にある保育需要に応じ、児童福祉法24条第1項に基づき、保育が必要な児童の入所選考事務を実施すると共に、児童福祉法56条第3項に規定する保育料の算定、保育料負担者から徴収を行う。		
	事務事業の概要	①保育所への入所児童の申請受理・選考を行う。 ②保育所に入所している児童の保護者が、保育所の入所基準を満たしているかどうかを審査、指導する。 ③保育所に入所している世帯の保育料の算定・徴収事務等を行う。 ④副食費免除対象者の算定を行う。		
	令和2年度の主な取組	令和2年4月一次選考、二次選考、5月以降12月まで入所選考を行う。 【公立保育所】5園【民間保育園】15園【認定こども園】2園【地域型保育事業】小規模保育事業所 4室 事業所内保育室 1園 入所選考・決定利用調整一括選考におけるAIシステムの運用 幼児教育無償化制度による施設利用給付の扶助対象申込受付		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.00	2.80	3.10
		人件費	15,956	22,560	24,977
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.56	2.00	2.00
	人件費	4,285	4,257	5,607	
人件費計		20,241	26,817	30,584	
事業費	報酬※	583	2,983	4,017	
	賃金※	3,218	0	0	
	需用費	1,240	1,500	1,659	
	委託料	23,429	1,922	4,782	
	使用料及び賃借料	690	575	651	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	139	135	141	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	806	2,073	2,730		
支出合計		46,061	31,748	38,957	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	19,161	72	0
		県支出金	0	3,565	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	14
一般財源		26,900	28,111	38,943	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		235	242	340	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	保育所入所希望者		
	説明	保育所等利用待機児童数調査（10月1日埼玉県報告）に基づく数値 低年齢児の保育所等入所希望者数は増加が見込まれるので、各家庭の保育ニーズに合った保育施設を受付時に案内する。		
活動	単位	人数		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	2,323	2,540	2,540
	実績値	2,418	2,360	
指標 2	指標名	認可保育所定員数		
	説明	保育所等利用待機児童数調査（4月1日埼玉県報告）に基づく数値 今後も低年齢児の保育需要の高い状況が継続されることが見込まれるため、各家庭の保育ニーズに合った保育施設に入所案内し、待機児童解消を図る。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	2,385	2,385	2,385
	実績値	2,385	2,385	
指標 3	指標名	保育所待機児童数		
	説明	保育所等利用待機児童数調査（4月1日埼玉県報告）に基づく数値 今後も保育需要の多様化が見込まれるので、入所調整相談等を充実させ、余裕のある保育施設に入所案内を行い、待機児童の解消を図る。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	2	5	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	保育所入所選考委員会への報告数値)											
	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>令和元年</td> <td>令和2年</td> <td>令和3年</td> </tr> <tr> <td>新規申請</td> <td>501名</td> <td>474名</td> <td>509名</td> </tr> <tr> <td>継続申請</td> <td>1,726名</td> <td>1,769名</td> <td>1,706名</td> </tr> </table>		令和元年	令和2年	令和3年	新規申請	501名	474名	509名	継続申請	1,726名	1,769名
	令和元年	令和2年	令和3年									
新規申請	501名	474名	509名									
継続申請	1,726名	1,769名	1,706名									
	令和2年12月1日現在（年度最終）の定員及び受入人数 ※数値は定員数、【 】内数値は受入人数											
	【市立】											
	上野台保育所 130【119】 霞ヶ丘保育所 120【98】 新田保育所90【69】											
	滝保育所 90【67】 大井保育所 100【87】											
	【私立】											
	たんぽぽ保育園 120【122】 ふじみ野なかよし保育園 132【114】											
	かすが保育園 100【115】 風の里保育園 90【76】											
	ゆずり葉保育園 120【113】 麦っ子保育園 60【60】											
	亀久保ひまわり保育園 120【120】 たんぽぽ第二保育園 110【117】											
	三丁目すまいる保育園 60【62】 ふじみ野どろんこ保育園 102【96】											
	鶴ヶ岡すまいる保育園 102【97】 上福岡おひさま保育園 120【112】											
	緑保育園 103【104】 子どものその苗間保育園 99【91】											
	分園上福岡おひさま保育園 25【16】 花の木なかよし保育園 120【90】											
	【認定こども園】											
	子どものその120【117】 星和幼稚園75【72】											
	【地域型保育】											
	いちご保育室（小規模保育） 6【6】 おともだち保育室（小規模保育） 18【18】											
	たけっ子保育室（小規模保育） 19【11】 ひよこ保育室（小規模保育） 15【14】											
	上福岡総合病院さくらんぼ保育室（事業所内） 5【5】											

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	保育所入所選考A I マッチングシステムにより、アナログ作業に要していた時間の効率化は図れているが、今後、更なる事務処理効率の向上を図るため、申請書等のOCR処理の導入を検討する。
中長期的方向性	
拡充	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市立保育所管理運営事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		子育てするならふじみ野市プロジェクト		
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 一人子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目		一般会計 03民生費 02児童福祉費 03児童福祉施設費		
所管部課		こども・元気健康部 保育課	評価責任者	小川 正樹
事務事業期間		昭和41年度～	評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		児童福祉法、ふじみ野市立保育所の設置及び管理条例、ふじみ野市立保育所の設置及び管理条例施行規則		
事務事業の内容	事務事業の目的	保護者が仕事や病気などの理由で、家庭内で保育ができない児童を保護者に代わって保育することで、保護者が安心して子育てしやすい環境づくりをする。		
	事務事業の経緯	①保護者からの申請に基づき、保育を必要とする児童を保育する。 ②完全給食の実施。 ③入所児童を安全に保育するために、施設の管理を行い円滑に運営する。		
	事務事業の概要	女性の就労機会の増大や就労形態の変化に伴い、保育を必要とする需要が高まってきた中で、児童福祉法第24条に基づき、保育を必要とする児童を受け入れる市立保育所の運営を実施しているものである。		
	令和2年度の主な取組	①子どもの成育の状況に応じた保育の必要量に対応するため、会計年度任用職員を雇用することで、配置基準を遵守した体制を整える。 ②大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理を行い給食等を提供する。 ③施設を定期的に点検し、老朽化に伴う修繕を行う。 ④保育所嘱託医を置き、年2回健康診断、年1回歯科検診を行い、入所児童の健康管理を行う。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	94.41	93.83	105.20
		人件費	753,203	755,989	847,597
	再任用職員	従事人数(人)	8.00	6.00	4.00
		人件費	30,752	31,806	21,204
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	96.38	76.45	92.20
	人件費	203,191	230,238	299,406	
人件費計		987,146	1,018,033	1,168,207	
事業費	報酬※	1,262	167,794	211,143	
	賃金※	179,309	0	0	
	需用費	87,423	76,158	89,634	
	委託料	12,319	12,713	17,314	
	使用料及び賃借料	6,253	5,905	6,409	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	375	304	431	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	30,397	71,667	96,760		
支出合計		1,101,293	1,122,336	1,290,492	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	380	780	2,070
		県支出金	4,252	3,470	4,677
		使用料・手数料	1	3	2
		分担金・負担金	88,030	42,797	51,670
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	3,572
		その他	87,678	29,922	40,060
一般財源		920,952	1,045,364	1,188,441	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		8,051	8,994	10,374	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市立保育所数		
	説明	ふじみ野市内にある公立保育所の数 上野台保育所、霞ヶ丘保育所、新田保育所、滝保育所、大井保育所の5箇所		
活動	単位	箇所		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	5	5	5
	実績値	5	5	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>内科検診 年2回 歯科検診 年1回 障がい児保育巡回指導 年5回 各種光熱水費の支払い</p> <p><修繕> 小荷物昇降機、調理室洗面台水栓、トイレ、砂場木製屋根、業務用食器洗浄機、冷凍庫、調理器具、空調機、消防設備・火災報知器、避難滑り台塗装、ガスレンジ配管、ガラス、引戸門扉、柱、外壁、桜伐採・伐根作業、排水樹・雨水管洗浄、畳張替等</p> <p><施設維持管理> 機械警備、日常清掃、害虫防除、植栽管理、消防設備等各種保守点検</p> <p><保育用備品（厨房機器等）購入> スポットクーラー、加湿空気清浄機、次亜塩素酸水（電解型）生成装置、ガスレンジ、スチームコンベクションオーブン、献立ショーケース、放送設備機器、テーブル、椅子等</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	児童福祉法に定められた事業であるため、市立保育所としての円滑な運営をしていく必要があるが、市立保育所の運営については、各施設とも経年のため維持管理修繕が求められている状況であることから、施設の長寿命化のために修繕計画をたて、安全で安心な保育環境が保たれるよう5箇所を維持、継続するための効率的な運営が必要である。
中長期的方向性	
拡充	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	幼児教育・保育施設運営支援事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	子育てするならふじみ野市プロジェクト			
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	12 保育 一子育ても仕事もガンバル保護者を応援しますー		
予算費目	一般会計 03民生費 02児童福祉費 03児童福祉施設費			
所管部課	こども・元気健康部 保育課	評価責任者	小川 正樹	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	児童福祉法及び子ども・子育て支援法 ふじみ野市民間保育所補助金交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	保育施設の充実及び待機児童の解消に向け、児童福祉法に基づき保育を必要とする児童の保育を民間保育園に委託し、各保育園に運営費委託料を支払い保育環境の充実を図る。更に児童の処遇向上、職員の処遇改善及び施設整備等のために、民間保育所補助金交付要綱に基づき補助を行い保育環境の改善に努める。		
	事務事業の経緯	・委託事業については、児童福祉法に基づき支出 ・補助事業については、平成17年10月1日施行ふじみ野市民間保育所補助金交付要綱に基づき支出		
	事務事業の概要	・社会福祉法人等に保育の実施を委託した児童の運営費委託料の支払を行う。 ・保育サービスの向上を図るための各事業を取りまとめ、国・県等の補助事業を実施する。 ・ふじみ野市民間保育所補助金交付要綱に基づき、補助を行う。		
	令和2年度の主な取組	国の保育単価に基づき民間保育園に対して運営委託料を支払う。保育園の定員規模、保育士の勤務年数、児童の年齢等に応じて保育単価が決まり、支弁額を算出し委託料として支払う。 (委託料から徴収金を控除した額の1/2が国、1/4が県から負担金として交付される。) 民間保育園は、国の保育単価で賄うことが基本であるが、一時保育や延長保育、障がい児保育などの保育単価での経費算入がないもの、又は算入が少ないものについて、県の補助金を活用し、又は市単独の補助金として交付する。保育運営等巡回相談業務を実施し、保育園からの相談に対応し、各園の優れた点や課題を分析し、優位点や改善方を示すなど保育の質の平準化や維持向上に努める。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.00	2.30	2.60
		人件費	15,956	18,532	20,949
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	15,956	18,532	20,949	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	74	74	
	委託料	2,202,917	2,341,876	2,835,476	
	使用料及び賃借料	15,757	15,757	15,758	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	349,330	356,324	655,917	
	扶助費	0	402,314	463,694	
その他事業費※	8,439	48,150	364		
	支出合計	2,592,399	3,183,027	3,992,232	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	831,745	1,271,991	1,657,908
		県支出金	429,168	644,429	832,097
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	263,763	124,515	170,152
		地方債	0	0	0
		基金	3,744	2,750	45,299
		その他	56,059	5	0
	一般財源	1,007,920	1,139,337	1,286,776	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	8,811	9,803	11,233	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	民間保育園数		
	説明	ふじみ野市内にある民間の認可保育施設の数 私立保育所15、認定こども園2、小規模4、事業所内1 計22箇所		
活動	単位	箇所		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	22	22	22
	実績値	22	22	
指標 2	指標名	病児・病後児保育実施箇所数		
	説明	ふじみ野市、富士見市及び三芳町で病児・病後児保育を実施している施設数 毎年利用者が増加しており、利用者のニーズに対応するため新規法人等に設立を依頼していく。		
成果	単位	箇所		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	3	4	4
	実績値	3	3	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果		令和2年度委託料	令和2年度補助金
	かすが保育園	129,924,190円	27,575,790円 (うち8,250,000円 整備費補助金)
	風の里保育園	90,237,590円	16,173,600円
	ゆずり葉保育園	123,219,610円	12,811,000円
	ふじみ野なかよし保育園	129,020,010円	8,903,428円
	たんぼぼ保育園	133,262,320円	21,092,916円
	麦っ子保育園	86,283,550円	6,904,900円
	たんぼぼ第二保育園	128,686,550円	26,561,730円
	亀久保ひまわり保育園	128,868,750円	29,931,464円
	三丁目すまいる保育園	118,516,950円	16,111,524円
	ふじみ野どろんこ保育園	100,651,590円	16,732,572円
	鶴ヶ岡すまいる保育園	115,366,340円	33,294,580円
	上福岡おひさま保育園	136,552,200円	28,512,532円
	緑保育園	111,353,920円	20,660,000円
	子どものその苗間保育園	102,480,930円	20,676,348円
	花の木なかよし保育園	96,470,660円	22,184,600円
	子どものその	167,911,890円	14,923,500円
	星和幼稚園	134,909,411円	11,268,880円
	小規模保育事業 (いちご保育室、おともだち保育室、たけっ子保育室、ひよこ保育室)	114,071,440円	3,953,000円
	事業所内保育事業 (さくらんぼ保育室)	9,457,220円	543,300円
市外保育所運営委託料	184,630,780円		

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	市内27の保育施設のうち22が民間保育園であり、民間保育園への依存度は非常に高くなっている。民間保育園の増加による保育士確保のために処遇改善や労働環境改善を目的とした施策の更なる充実が求められる。 民間保育園の保育環境の充実を図るため、引き続き国及び県の補助制度を活用し、適切な委託料等の支払いを行う。
中長期的方向性	
拡充	